

鶴瀬西地域のあゆみ

市制施行50周年を迎えて

この50年、特に変化の大きかったのは鶴瀬西地域ではないでしょうか。今月号では、50年をふりかえってみました。



西地域の開発

鶴瀬第一、第二団地などの完成で人口が一気に増加し、「富士見村」から「富士見町」へ。その後も人口は増え続け、市制に必要な主要道路の舗装や役所、学校などの施設の充実を図り、昭和47年4月10日に「富士見市」が誕生しました。生活や町の景色も変化していきました。

昭和55年に鶴瀬駅西口が開通するまで、西地域の住民が電車に乗るには、踏切を渡って東口まで行く必要がありました。当時この辺りは赤土の道で、一度雨が降ると何日も泥道が続き、晴れていても長靴を履いて通勤する様子は週刊誌にも取り上げられました。



昭和39年 鶴瀬第二団地

学校

人口が増加したことに伴い、児童数も増え、昭和38年に鶴瀬西小学校、昭和44年に関沢小学校、昭和49年に上沢小学校が開校しました。現在では、鶴瀬西小学校と上沢小学校は閉校し、つるせ台小学校に統合されています。



鶴瀬西小学校



上沢小学校



つるせ台小学校

公民館・図書館

現在の鶴瀬駅西口交差点付近に、かつて鶴瀬西公民館（昭和43年から平成17年）がありました。

市民活動が非常に活発な施設で、その精神は鶴瀬西交流センターに（写真下）引き継がれています。



鶴瀬西公民館

当初は平屋でしたが（写真上）、昭和55年に2階部分を増築しました（写真下）



昭和45年(1970年)ごろの鶴瀬駅西口



平成28年(2016年)ごろの鶴瀬駅西口

公園

公園のなかったこの地域にも、市民の要望（おたのしの緑地公園（三鉄道公園））、なかよし公園（上沢3丁目）ができた後、平成23年につるせ台公園、平成26年に上沢公園、平成30年につるせ西ゆうゆうの丘公園が開園しました。



つるせ台公園



上沢公園



つるせ西ゆうゆうの丘公園

これからの西地域に期待



移動図書館車 さざなみ号
出典「ふじみ社会教育だよりNo.208」

鶴瀬西地域に図書館ができる前、昭和44年から平成15年までの間、移動図書館車「さざなみ号」が市内を巡回していました。

昭和51年に富士見市発行の市勢要覧「のびゆくふじみ」は3村合併20周年記念号です。人間郡鶴瀬村、南畑村、北足立郡水谷村が合併して富士見市となったのが富士見市の基となっています。現在でもそのままの状態が推移し、近隣市町との合併話は成立しませんでした。この「のびゆくふじみ」に掲載されている、「わたしたちのまち・その未来」として鶴瀬駅西口に書かれている「西口ができる」と…では、市民のだれもが気軽に利用できる、市役所の諸手続きもできる総合的な機能をもった施設（図書館、展示室、講堂、結婚式場、出張所など）を構想していました。4年後の昭和55年に待望の鶴瀬駅西口が開設されましたが、当初の市の予定規模は大幅に縮小されました。その後、西口の区画整理もほとんどが終わり、街並みはともキレイになりました。

いま、市制施行50周年を迎えて、この西地域が本当に住んでよかったと思える街になることを期待します。西地域の発展のために、多めに意見を出し合いたいものです。

（編集委員）

鶴瀬西地域のあゆみ

- ◆昭和31年（1956年）9月3村（鶴瀬村、水谷村、南畑村）合併により富士見村 発足
- ◆昭和39年（1964年）4月町制施行により富士見町 発足
- ◆昭和47年（1972年）4月市制施行により富士見市 発足



市制施行記念行事（鶴瀬駅）

- ◆昭和51年（1976年）4月第6保育所 開設
- ◆昭和54年（1979年）4月西中学校 開校
- ◆昭和55年（1980年）鶴瀬駅西口 開通（3月）西出張所（現在地）、サンライトホール 開所（4月）
- ◆平成元年（1989年）4月鶴瀬西図書館（現在の富士見市立図書館鶴瀬西分館）開館
- ◆平成17年（2005年）11月鶴瀬西交流センター 開所
- ◆平成18年（2006年）鶴瀬西小学校と上沢小学校 閉校（3月）つるせ台小学校 開校（4月）

写真提供／難波田城資料館、他 編集委員